

**2022年**

**横浜市 幼保小 教育交流事業金沢地区  
健やか子育て講演会**

## 〈お願い〉

本資料は、横浜市金沢区内の幼稚園・保育園・小学校の職員、保護者の方を対象にした限定配信動画の資料のため、インターネット上にアップロードすることは禁止します。また、本配信動画を録音、写真撮影、ダウンロードして保存することや動画をインターネット上にアップロードすることも同様に禁止します。

# 子どもを叱る そのメリットとデメリット

- 神奈川県私立幼稚園連合会 教育相談員
  - 臨床発達心理士
    - 鈴木 敦子

# 子どもをどう育てたらよいのでしょうか？

- 二つの考え方 1, 厳しく育てる 2, のびのび自由に育てる
- どのような人間になってほしいか きちんとした人、やることはちゃんとやる人、まじめな人、優しい人、臨機応変のきく人
- 親の希望と本人の特性

# 甘やかすことと叱ること

- 叱らないと叱られる 適切に叱ることは必要。叱ることには効果がある(相手に変わってほしい)
- 甘やかしてはいけない、と言われる一方で「愛情不足」と言われる不安
- 叱らなければ褒めればいいのか

# 叱り始めると止まらない

- 叱ると気分がいい。罰を与えられて当然な相手に罰をあたえている（叱っている）。とにかく相手が悪いので満足感がある。「ごめんなさい、もうしません」と一時的に謝るので叱っている人には「自己肯定感」が生じる。
- 「もうしません」は続くでしょうか？その場から逃れたい言動かもしれません。

# 「ダメ、ゼッタイダメ！」はだめ

- 一度許すと（甘やかすと）味をしめて癖になる、か？
- 薬物でも一回で依存症になるとは限らない。受け入れがたい現実から一時的に逃避できる、忘れられるので何回も繰り返す
- ダメなものはダメなのか？ 状況で変化しないものはない

# マルトリートメント

- 不適切な養育・避けるべき子育て（虐待とまではいかないけれど）心理的な虐待が最も多い
- 「自分は厳しく叱られ、育てられたから強くなれた」（生存者バイアス）生き残った者だけを評価する思い込み。多くの人はいまうまくいかなかった。



# 少年法の厳罰化

- 18歳、19歳の子どもが成人同様の刑罰の対象になる
- しかし、20歳未満の子どもの犯罪は実は減っている。20歳未満刑法犯の検挙人数 令和元年過去最少2万6千76人
- 悪い奴らに罰を与える正義の味方

# 叱られて、我慢して人は強くなれない

- 「どうしてそんなことするの！」 やっている子どもも理由はよくわからない。あるいはまだ言語化できない。
- 「何度言ったらわかるの！」 一度言われて言動が変わらなければその言い方は有効ではない
- 「ごめんなさいしなさい」 ごめんなさいしても、気持ちはごめんなさいではない

# 子どもの現状を見極める

- いま目の前の子どもは何ができて、何ができないのか。やらないのか、**やれないのか**。
- 運動会でダンスをしない→やる気がない。周りの雰囲気での圧力でダンスができない
- できない子にはできないなりの達成ハードル設定が必要

# たとえばこのような場面

- 自由遊びの場面で、自分の遊びが一区切りすると、無表情で他児の玩具を取ろうとし、拒否されると相手に噛み付いたり、叩いたりする ← あなたが親や保育者ならばどうしますか？

# どうしてそうなったか要因を想定

- 想定要因 環境刺激の処理困難による固執からのパニック
- 短期目標 自由遊びの場面で、環境刺激統制されていれば、他児の玩具を取らずに過ごすことができる。
- 支援の方向性 環境刺激を下げる
- 具体的な支援の手立て 環境刺激の低い場所○○で、□□（遊び、友達、課題、役割等）の“意識のカプセル”を提示する。
- 遊びが終わる直線、または直後に次の“意識のカプセル”に入れる

# 子どもの叱り方

- 子どもと対等になって衝突しない（同じレベルにならない）
- 子どもを傷つける言葉は使わない（親を傷つける子どもが許せない、親が傷ついた分だけ子どもも傷つくべきだ）
- 怒るときは短く（生命の危険がある時）

横浜市 幼保小  
教育交流事業 金沢地区  
健やか子育て講演会

ご視聴くださいましたありがとうございます  
とうございました！